



[銘柄コード：4734]

第34期中間期

ビーイング通信

平成29年4月1日 ➡ 平成29年9月30日

3-4

トップメッセージ

売上高は2,349百万円、
経常利益は44百万円となりました。

5-6

新商品

土木工事積算システム Gaia10 (ガイア テン) 10月発売

7

連結財務ハイライト

8

トピックス

ビーイングDC業務開始
Being(Myanmar) Co.,Ltd.社員研修で来日

9-10

会社概要／株式の状況



感謝・感恩・報恩

APPRECIATION

GRATITUDE

RETURN THE FAVOR

建設関連事業

建設業界の業務フロー全体を支援する「建設ICTソリューション」

積算ソフトのシェアNo.1（※）を誇るGaiaシリーズを筆頭に、建設業様向けソフトを販売しています。計画、入札、収支管理、書類作成、工程管理などの業務フローを総合的に支援する多種多様な商品群は、高い評価を得ています。

創業以来培ったノウハウを基に、ソフト間のデータ連携、ダウンロードサービスの充実、正確なデータの迅速な提供、お客様にご満足いただけるサポートサービスなど、時代の変化やニーズにあわせ、たゆまぬ改善活動を続けています。

※「積算ソフト利用実態調査」「建設ITガイド2007」（一般財団法人経済調査会）

Gaia10

BeingProject-CCPM
Critical Chain Project Management

BeingCollaboration®

BeingBid
Bid management system

BeingBudget

評点PLUS+

BeingCollaboration PM

コアバリューについて

ビーイングのたゆまぬ歩みの礎となり、絶えず適切な方向へと導く源泉となってきたものが、創業以来のコアバリューである「感謝・感恩・報恩（感謝の気持ちを忘れず、恩を感じ、恩に報いる、の意）」です。ビーイングの企業理念・倫理規定として社員一人ひとりに確実に受け継がれており、事業運営の中核となっています。

海外展開へ

TOC関連ソフトは、海外のお客様からも多数お問い合わせをいただいております。英語版は欧米、アジア各地の製造業をはじめとしたお客様にご利用いただいております。さらに、2013年10月には、ミャンマーにオフショア開発のための子会社を開設しました。

TOC関連事業 想定外を想定内にするプロジェクトマネジメントサービス

TOC-CCPM理論に対応した国産初のソフトウェアで、技術開発、商品・サービス開発、システム開発など様々なプロジェクトの工程管理に効果を発揮、経営改善に役立ちます。国内外の約800社（製造・サービス・IT業など多業界）に採用され、プロジェクト管理ツール市場においてシェアNo.2（※）。2014年にはクラウド型商品も発売。当社の第二の柱として確立することを目指しています。

※「ソフトウェアビジネス新市場2011年版」（株式会社富士キメラ総研）



TOCとは

1970年代後半にイスラエルの物理学者エリヤフ・ゴールドラット博士が提唱、1984年に同博士が執筆した小説仕立ての解説書「The Goal」によって世界的に普及しました。DBR、思考プロセス、CCPMなど目的に応じたソリューションを持ち、世界中の企業から多くの成功事例が報告されています。

設備関連事業 「どこでも、誰でも」を実現する 水道・電気設備申請支援CAD

電気・水道設備の工事業者様向けのソフトウェアで、主に子会社であるプラスバイプラスが販売。工事図面、見積書・申請書類の作成に効果的です。ビーイングとプラスバイプラス互いの強みを活かし、より幅広いサービスを提供しています。



ご挨拶

平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

当社第34期中間期時点での当社事業内容および当中間期の状況についてご説明申し上げます。

代表取締役社長 末広 雅洋



売上高は2,349百万円、 経常利益は44百万円となりました。

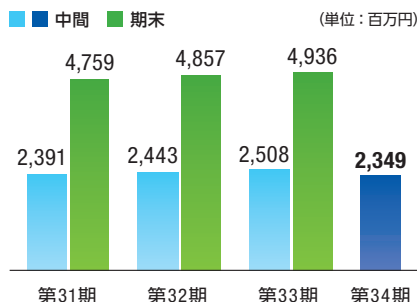
当中間期において当社グループは、引き続き研究開発活動に積極的に取り組んでまいりました。また、課題となっていた土木工事積算システムにおけるデータ処理リソースの不足を改善するため、これを専門に行う子会社を設立するなど、ボトルネックの解消に取り組んでまいりました。

主力商品である『Gaia（ガイア）9』がライフサイクルの終末を迎えたことにより、販売面での落ち込みが顕著となっておりましたが、新バージョンのリリースが確定したことで市場が活性化し、当中間期末にかけて販売が回復してまいりました。この結果、当中間期の売上高は、前年同期

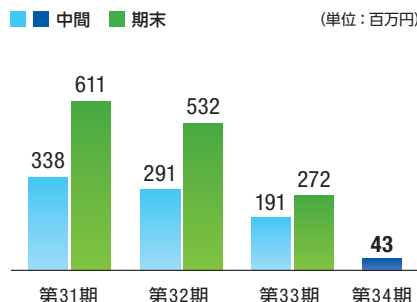
に比して6.3%減少し2,349百万円となりました。

コスト面では、研究開発費や販売関連費用に積極的に資金を投入いたしました。一方で前期に行った寄付の特殊要因が無くなったことや、土木工事積算システムにおいて必須のデータ処理を子会社で行うこととしたことから一時的に費用が減少し、総コストは11百万円減少いたしました。この結果、経常利益は44百万円（前年同期比、76.0%減）となりました。また、親会社株主に帰属する中間純利益は、8百万円（前年同期比、90.9%減）となりました。

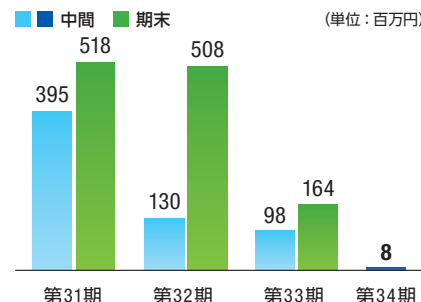
売上高



営業利益

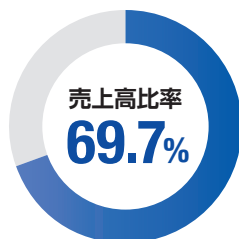


親会社株主に帰属する当期純利益

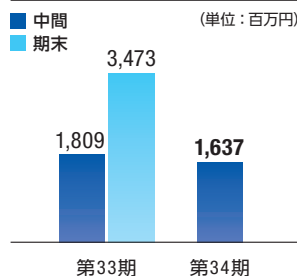


建設関連事業

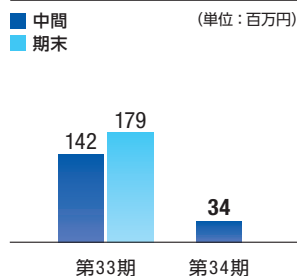
建設関連事業につきましては、昨年9月に投入した工程管理機能付きASP型工事情報共有システム『BeingCollaborationPM』の販売が伸びたものの、土木工事積算システムが減少したことから、当中間期の売上高は、前年同期に比して9.5%減少し1,637百万円となりました。これにより、当中間期のセグメント利益は34百万円（前年同期比75.9%減）となりました。



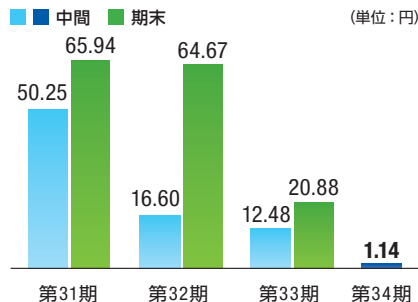
売上高



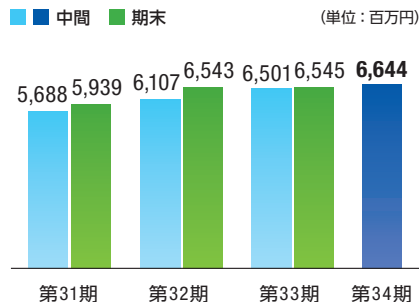
セグメント利益



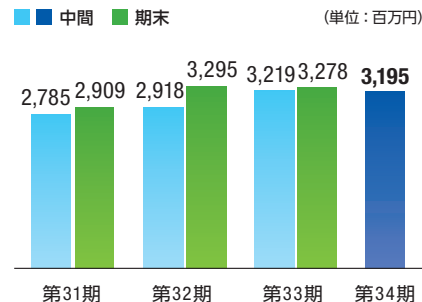
1株当たり当期純利益



総資産

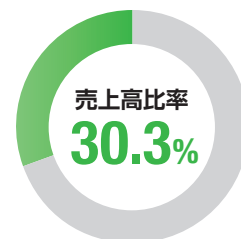


純資産

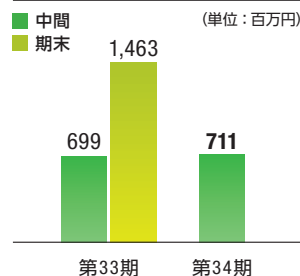


設備関連事業

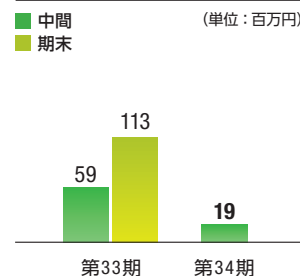
設備関連事業につきましては、当中間期の売上高は、前年同期からやや増加し711百万円（前年同期比1.8%増）となりました。利益面では、販売関連経費等の増加により、当中間期のセグメント利益は前年同期に比して67.4%減少し、19百万円となりました。



売上高



セグメント利益



土木工事積算システム Gaia10 (ガイア テン) 10 月発売

積み重ねた技術だからこそ、
踏み込める領域がある！

Gaia10



お客様の独自情報やノウハウを蓄積し活用できる機能を搭載



初代Gaia

初代Gaiaの誕生から30年、ついに10代目を迎えた今秋発売のGaiaは10と名付けられました。市場環境の変化にあわせて柔軟に進化し続けることで、Gaiaは積算ソフトのトップブランドとしての地位を確立してまいりました。

当社はこれからも、真にお客様のためになるサービスをあらゆる目線で追求し続けてまいります。

建設開発部
本社システム課マネージャー
Gaia10開発リーダー

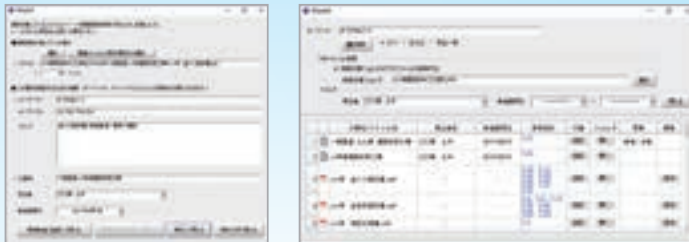
中田 陽子氏

開発者の声

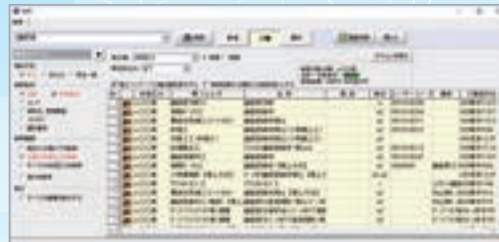
おかげさまで『Gaia』は、生誕30周年を迎えました。その節目の年にシリーズ10代目となる『Gaia10』をお届けできることは、初代から開発に携わってきた私にとって格別の喜びです。

大変ご好評をいただいた前作『Gaia9』リリース以降も、私たちは製品改善に取り組み続けてまいりました。今回『Gaia10』の開発において着目したのは、お客様がお持ちの膨大な積算資料をいかに効率的に管理するかという点です。そして実現したのが、システムに蓄積した資料を次回以降の積算時に簡単に活用できるサイクルです。

特長：1 積算根拠蓄積機能を搭載



特長：2 検索機能の強化



特長：3 チェック機能の強化

台 表層	21	☐	Σ	表層	1	式
台 表層(車道・路肩部)【施工第0-0011号】	22	☐	P	材料種類:の密粒度アコン(新20FW)改質1型,舗 装厚:50mm	1,310	a2
台 表層(車道・路肩部)【20号代価表】	23	☐	P	表層(車道・路肩部)	1	a2
台 アスファト混合物【21号代価表】				1.4m未満(平均仕上り厚50mm以下) 50mm 密粒度アコン(20)		

『Gaia10』は、根拠資料を検索用キーワードとセットで記録します。一度記録した資料データは、設定したキーワードで簡単に検索できます。また、キーワードを記録していない資料でも、資料内に含まれる単語を拾い出し検索できるよう改善しました（PDFなどで文字コードが含まれるデータのみ）。積算すればするほど、上述のサイクルが強化される仕組みです。しかし、積算精度のさらなる向上には、新機能追加だけでなく既存機能のブラッシュアップが必須です。そこで、お客様の手間や負担になっている作業を最大限削減することで積算時間に余裕を生みミスを防ぐよう改善しました。



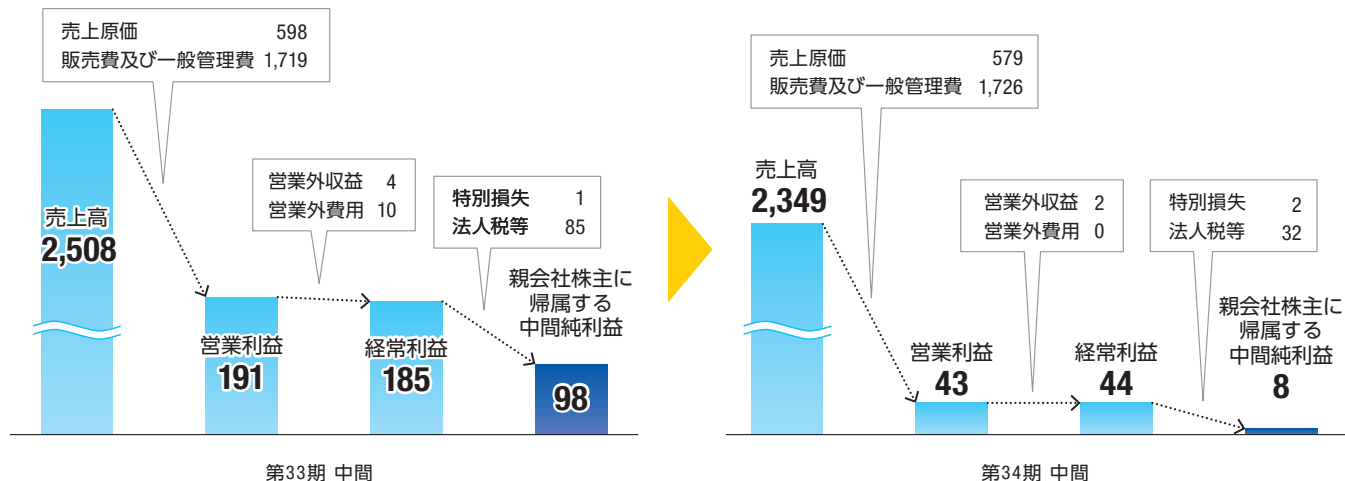
例えば、検索機能については、絞り込みや優先順などの条件設定欄を検索結果と同じ画面に表示することで、視覚的移動が最短になりました。他にも、積算結果のチェック時にひと目でわかるよう補正がかかる単価にはアイコンをつけました。

さらに、今回はサポート面での改善にも切り込みました。お客様よりお問い合わせいただく際にご案内している操作手順の中で時間のかかるものを洗い出し、極力シンプルに改善いたしました。

常にお客様の声に耳を傾け、積み重ねてきた技術とノウハウがあるからこそ、さらなる利便性の向上を実現した『Gaia10』。「やっぱり『Gaia』はいいね」と思っていただけよう努めてまいります。

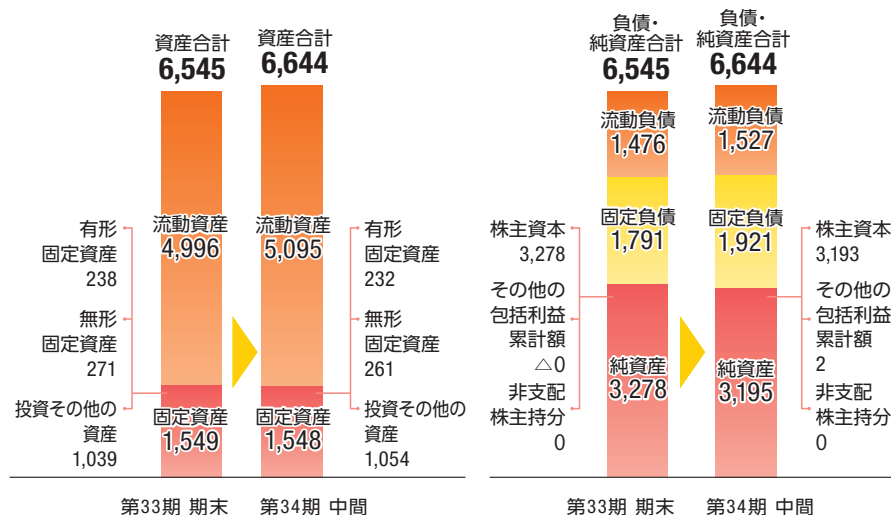
連結損益計算書の概要

(単位：百万円)



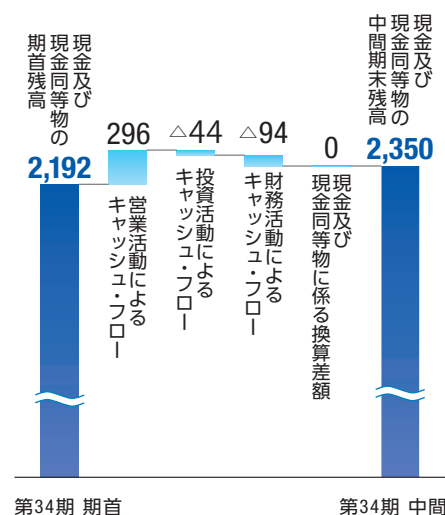
連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



ビーイングDC業務開始



今年8月、創業者・津田の生まれ故郷である長崎県五島市に子会社ビーイングDCを設立しました。スタッフ募集には、おかげさまで多数のご応募をいただき、まずは約20名からのスタートとなりました。開所後は当社開発部門よりビーイングDCへ指導員を常時派遣し、当社が長年にわたり培ってきたノウハウを詳細に伝えながら業務をバックアップしてまいりました。

データ入力センターとして実際の業務をしっかりと担える態勢が整ってまいりましたので、今後当社の発注業務により多くより幅広く対応できるよう、現在は追加で人員を募集中です。



Being(Myanmar) Co.,Ltd.社員 研修で来日



Being(Myanmar) Co.,Ltd.は、今年10月に設立5年目を迎えました。当社のオフショア開発部隊として着実に成長してまいりましたが、今夏、開発体制のさらなる強化を目指し、とりわけ技術力の高い6名を研修生として招きました。

現在は、数名ずつが異なる商品プロジェクトチームに入り実際の開発現場を体験しながら学んでおります。滞在期間中に日本の社員との交流を通じて文化や習慣へも相互理解を深め、帰国後には習得技術とあわせて現地スタッフに共有することで、グループ間の業務委託をよりスムーズに進めてまいります。



会社概要

商 号	株式会社ビーイング (Being Co.,Ltd.)
所 在 地	本 社 三重県津市桜橋1丁目312番地 TEL 059-227-2932 (代表)
設 立	昭和59 (1984) 年9月18日
資 本 金	1,586,500,800円
従 業 員 数	249名
主 要 事 業	建設業向けアプリケーション …土木工事積算システム、出来形品質管理システム、 実行予算・原価管理システム TOC関連アプリケーション …工程管理システム、生産スケジューリングシステム
子 会 社	(株)プラスパイプラス …設備業向けCADソフトウェアの販売 Being (Myanmar) Co.,Ltd. …コンピュータソフトウェアの開発 (株)ビーイングDC …コンピュータソフトウェアの開発

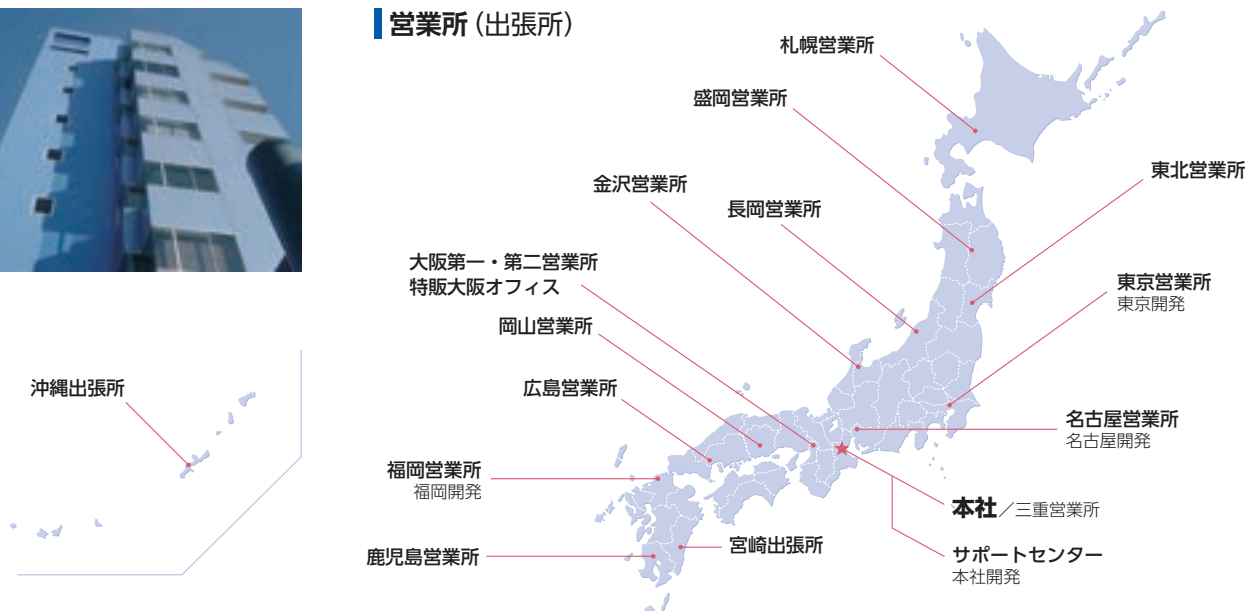
役員

役 職	氏 名	担 当	他の法人等の代表状況等
代表取締役会長	津田 能成		(有)トゥルース 代表取締役 (株)プラスパイプラス 取締役会長 Being (Myanmar) Co.,Ltd.代表取締役 (株)ビーイングDC 代表取締役社長
代表取締役社長	末広 雅洋		(株)プラスパイプラス 取締役
常 務 取 締 役	後藤 伸悟	経理部長	(株)プラスパイプラス 監査役 (株)ビーイングDC 監査役
常 務 取 締 役	井関 照彦	データ開発部長	(株)プラスパイプラス 取締役
取 締 役	藤谷 章一	商品管理部長	
取 締 役	津田 誠	事業企画部長	
取 締 役	藤田 浩久	建設開発部長	
社 外 取 締 役 (監査等委員)	大矢 勝		
社 外 取 締 役 (監査等委員)	橋本 隆司		東海土建(株) 相談役
社 外 取 締 役 (監査等委員)	楠井 嘉行		楠井法律事務所 所長 三重交通グループホールディングス(株) 社外取締役
取 締 役 (監査等委員)	津田 由美子		(有)トゥルース 取締役



本社

営業所 (出張所)



株式数および株主数

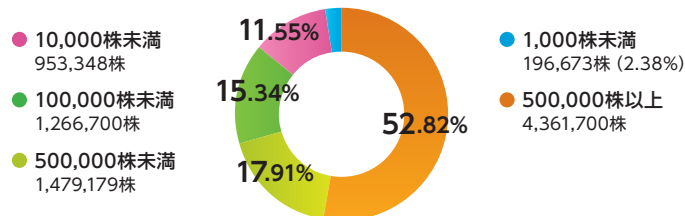
発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	8,257,600株
株主数	1,471名

大株主

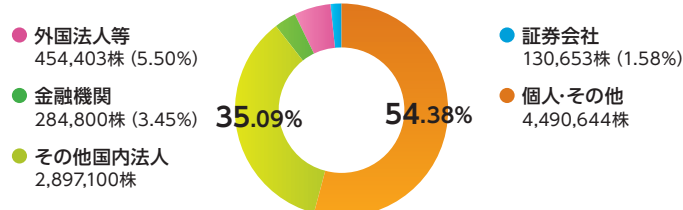
株主名	持株数	持株比率
有限会社トゥールース	2,850,000株	34.51%
津田 能成	1,511,700株	18.30%
株式会社ビーイング	393,559株	4.76%
津田 由美子	379,000株	4.58%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224	300,000株	3.63%

所有者区分別株式分布状況

所有数別



所有者別



WEBサイトのご案内

当社では、最新のニュースやIR情報、製品情報など当社をご理解いただくためのさまざまな情報をご提供しています。

<http://www.beingcorp.co.jp/>

株式会社ビーイング IR 検索

トップページ



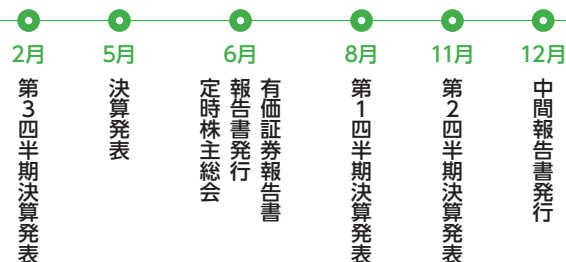
「IR情報」トップ



- 業績ハイライト
- 個人投資家の皆様へ
- 株式について
- IRライブラリー etc.

今後のIRスケジュール (予定)

当社では迅速かつ正確な情報開示を心がけるほか、投資家の皆様にに向けたさまざまな活動も行っています。以下は当社の今後のIRスケジュールになります。ご参考の上、引き続きご支援いただけますようお願いいたします。なお、予定は予告なく変更される場合がございます。



株主メモ



事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 毎年3月31日
(その他必要がある時は、あらかじめ公告する一定の日)

期末配当金
受領株主確定日 毎年3月31日

中間配当金
受領株主確定日 毎年9月30日

株主名簿管理人及び
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1
電話番号：0120-232-711 (通話料無料)
郵送先：〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

電子公告
※ただし、電子公告によることができないやむを得ない事
由が生じた時は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告の掲載
電子公告の掲載ホームページアドレス
<http://www.beingcorp.co.jp/>

銘柄コード 4734

*株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

*特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り次ぎします。



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。